

平成25年度活動報告

■ 家庭用燃料電池の普及拡大

- 家庭用燃料電池「エネファーム」の販売増(2013年度 累計で5,000台超、全国では7-8万台)
- コストダウンが進展、2014モデルは200万円以下に。

■ 技術研究所トピックス

- 賢材研究会第一回学術技術交流会を技研にて開催(6/28)
- スマート関連: ハウス、集合住宅、豊田市実証、今後はスマートメーター導入、スマートタウンなど。
- 燃料電池自動車販売(2015)に向けた水素ステーション整備(とよたエコフルタウン運開)

■ 固体酸化物形燃料電池(SOFC)の研究開発

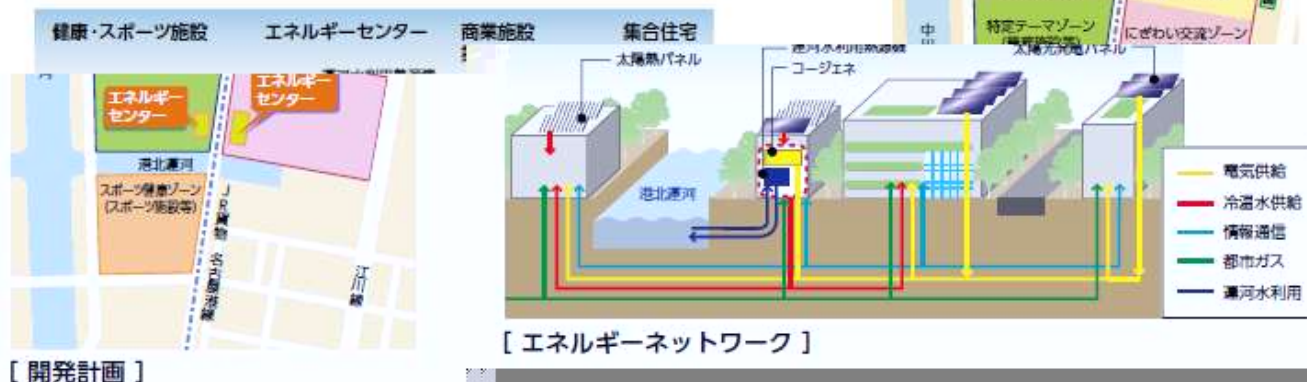
- 小型業務用(5~10kW) SOFCの実用化に向けた取組みを継続

■ その他対外活動(水谷)

- ①招待講演・依頼講演
 - PACRIM10, “Progress of residential fuel cell systems and technologies in Japan”
 - ファインセラミックスシンポジウム2013 「固体酸化物形燃料電池(SOFC)の現状と課題」
- ②外部活動
 - 燃料電池実用化推進協議会(FCCJ) SOFCサブワーキング主査, NEDO 燃料電池技術開発 技術委員
 - 豊橋技術科学大学 非常勤講師 「新エネルギー工学」

トピックス

- [開発概要] ● 開発予定地：名古屋市港区港明二丁目 他
● 開発面積：約31ha



港明地区スマートタウン構想（東邦ガスグループビジョンより）

http://www.tohogas.co.jp/corporate/company/vision/group-vision/pdf/pdf-group-vision_01.pdf



とよたエコフルタウン
水素ステーション



エネファーム2014年モデル

http://www.tohogas.co.jp/corporate-n/press/1192482_1342.html



PACRIM10 (San diego)



SOFC13 (Okinawa)